

授業科目名	日本語 A	担当教員 姚 瑶			
必修の区分	選択				
単位数	1 単位				
授業の方法	講義				
開講年次	1年 第1クオーター				
講義内容	<p>この講義は「聞く力」と「話す力」を伸ばすための授業である。</p> <p>①留学生が苦手な発音を音読練習で矯正し、母語の影響を受けた発音のために日本語が不自然に聞こえるという問題を克服する。</p> <p>②留学生が学校や日常生活でよく出会う場面やトラブルを取り上げて、適切な言い方ができるように、更に日本語で円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。留学生が生活の中でよりよい人間関係を築くために演劇的手法を取り入れた会話練習を行う。</p>				
到達目標	<p>①日本語を正しく聞き取り、分かりやすい発音ができるようになる。</p> <p>②依頼、謝罪、問い合わせ、苦情などの言語機能を達成しつつ、日常生活で場面、相手に応じた話し方ができるようになる。</p>				
授業計画	<p>第1回 ①オリエンテーション②クラスで自己紹介をする</p> <p>第2回 自分の国の料理の作り方を教える</p> <p>第3回 先生を飲み会に誘う</p> <p>第4回 先生の誘いを断る</p> <p>第5回 友達を慰める・励ます</p> <p>第6回 パーティーで初対面の人と話す</p> <p>第7回 映画鑑賞</p> <p>第8回 電話をかけて伝言を頼む</p> <p>第9回 医者に症状を説明する</p> <p>第10回 財布をなくして説明する</p> <p>第11回 希望の部屋を探す</p> <p>第12回 電話でアルバイトに応募する</p>				
事前・事後学習	<p>毎回、授業の開始時に 10 分程度の小テスト(リスニング or 筆記)を実施する。前回の授業内容について復習しておくこと。</p>				
テキスト	<p>『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』</p> <p>著者：中居順子他</p> <p>出版年：2005 年9月1 日</p> <p>出版社：スリーエーネットワーク</p>				

参考文献	『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』 著者：戸田貴子 出版年：2004年 出版社：スリーエーネットワーク
成績評価の基準	授業態度(出席・発言等) (50%) 小テスト (50%)
履修上の注意 履修要件	原則として、20分を超える遅刻の場合は、欠席扱いとする。 欠席回数が4回以上の学生は成績評価の対象外とし、単位を修得できない。
実践的教育	該当しない。
備考欄	受講者のレベルや人数によって講義の内容や計画が変わることがある。